

| | | | |
|---------|--|----------|----------------|
| 科目分類 | 助産学実践科目 実践・関連 | 開講時期 | 1年 通年 |
| 授業科目 | 研究 | | |
| 選択／必修 | 必修 | 単位数(時間数) | 2単位 30時間 |
| 授業形態 | 講義 | | |
| 担当教員 | 野々山 未希子・窪田 裕子・田中 真穂 | | |
| メールアドレス | m-nonoyama@tsuruga-nu.ac.jp(野々山) y-kubota@tsuruga-nu.ac.jp(窪田) m-tanaka@tsuruga-nu.ac.jp(田中) | オフィスアワー | 事前にメール連絡してください |

| | |
|---------------|--|
| 授業目的 | 研究の概要と目的、方法を再確認しつつ、周産期領域における文献検索を行いながら研究課題を明らかにし、研究計画案を作成できる。それらの学習を踏まえ、実習において実際に関わった事例を基に研究的視点からデータ収集、分析、研究論文作成が行えることを目標とする。 |
| 授業概要 | 研究方法について学び、助産学実習の事例に対して事例研究を展開し、研究のプロセスの中で、対象者へのケアについて考える機会とする。 |
| 授業内容 | 第1回 研究の概要、看護実践と研究 (野々山) 第2回 研究動機、研究の問いのレベルと研究デザイン (野々山) 第3回 文献検討に基づく Research Question と研究課題の絞り込み (野々山) 第4回 研究倫理 (野々山) 第5回 研究計画書の内容、研究成果の報告 (野々山) 第6回 帰納的アプローチによる研究手法 (田中) 第7回 演繹的アプローチによる研究手法(実態調査・仮説検証型調査) (窪田) 第8回 事例研究の研究的位置づけと研究手法 (田中) 第9回 事例を用いた演習1 (野々山・窪田・田中) 第10回 事例を用いた演習2 (野々山・窪田・田中) 第11回 事例を用いた演習3 (野々山・窪田・田中) 第12回 事例を用いた演習4 (野々山・窪田・田中) 第13回 事例を用いた演習5 (野々山・窪田・田中) 第14回 事例を用いた演習6 (野々山・窪田・田中) 第15回 まとめ (野々山・窪田・田中) |
| 教科書 参考書等 | 講義資料はその都度配布する。 |
| 成績評価 基準・方法 | 課題 25% 研究計画書 25% 研究論文 50% |

| | |
|-------------|---|
| 履修要件 | 特になし |
| 留意事項 その他 | <p>文献検索方法、看護研究方法など、看護学での既習範囲は復習しておくこと。実習の受け持ち事例の中から研究課題を決めて、事例研究として研究計画書および研究論文を作成する。研究を通して学生自身の実践の振り返り・改善・充実につながるように、自ら研究課題を追求し、学修する姿勢が求められる。</p> <p>本科目を履修していないと、助産学実習ⅠⅡⅢⅣは履修できません。</p> |